

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則

本大会は、2018年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習場及び練習

- (1) 練習は、南部ポール付近のトラック外側を使用し、競技役員（マーシャル等）の指示に従い危険防止に努めること。
- (2) 本競技場における朝の練習は8:00までとする。投てき練習（ハンマー投を除く）は一方向で行い、周囲に十分気をつけて行う。ウォーミングアップでのフィールド内の使用は、禁止する。

3. 競技者の招集方法

- (1) 招集所は競技場第1ゲート付近に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時間は、全て競技日程招集時間による。
- (3) 招集開始時間がきたら招集所にて出場のチェックを行い待機し、最終点呼を受ける。同時に背・胸のナンバーカード、スパイクシューズ・競技場へ持ち込む物品などの確認を受ける。
- (4) 他の種目に出場しているなど特別な事情のある場合に限り、代理人による招集をみとめる。この場合必ず競技者係主任に申し出る。
- (5) 招集完了時間に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理されるので注意する。

4. ナンバーカード

- (1) 全ての競技者はユニフォームの胸・背に交付された大きさのまま確実に付ける。跳躍競技の競技者は胸又は背のどちらかに付けるだけでよい。
- (2) トラック競技出場者は別に腰ナンバーカードを付ける。

5. レーン順、試技順について

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載の順番とする。
- (2) トラック競技の記録上位者による次のラウンドの進出者を決める場合又は、準決勝以降のプラス進出者を決める場合において、その最下位で同タイム者が出たときは1/1000秒で記録された競技者の実時間から着差を判定し、進出者を決定する。判定が不可能な場合は本人または代理人によって抽選を行い、進出者を決定する。
- (3) 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のために自分のレーン（曲走路）に沿って走り終わること。
- (4) 男女200m・400m・800mはタイム上位者をA決勝とし、更に予選のタイム9～16位をB決勝として実施する。各種目B決勝を先に行い、A決勝を後に行う。また表彰についてはA決勝出場者のみ対象とする。

6. 競技

- (1) 不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (2) 「On your mark」あるいは「Set」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したとき、審判長がイエローカードを示し、警告を与える場合がある。同一種目において2枚のイエローカードを受けた競技者は、当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場は妨げない。

- (3) 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を所定の用紙に記載し、跳躍審判員に届出る。
- (4) リレーオーダーは、予選・決勝とも第1組招集完了時間の1時間前までに競技者係に提出する。
- (5) フィールド内での投てきおよび跳躍の練習は、必ず審判員の指示に従う。競技中フィールド内での練習は絶対にしない。
- (6) 男子5000m・3000mSC・4×400mR、女子1500m・3000m・4×400mRは決勝タイムレースとする。
- (7) 5000mWは男女同時スタートとし、競技運営上、男子30分・女子35分で競技を打ち切る。
- (8) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。ビデオ機器や携帯電話もしくは類似の機器等については競技者に見せることは可能だが、試技場内に持ち込んだりしてはならない。

7. バーの上げ方

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	
走高跳男子	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以降3cm刻み
走高跳女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以降3cm刻み
棒高跳男子	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	以降10cm刻み
棒高跳女子	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	以降10cm刻み

- (2) 第1位決定のバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳では5cmとする。天候その他の条件によって変更する場合は、当該審判長が決定する。

8. 予選通過記録

- (1) 男子走幅跳 予選通過記録 6m70
 - (2) 男子やり投 予選通過記録 46m00
- ※天候その他の条件で変更することもある。

9. 競技場への入場・退場

- (1) 競技場への入場・退場は全て、競技役員の誘導により行う。競技者以外はトラック・フィールドに立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技における競技者は、第2ゲートを通り退場し、メインスタンド前は通らない。
- (3) フィールド競技における競技者は、当該競技役員・マーシャルの指示に従い退場する。

10. 競技用器具

- (1) 競技に使用する用器具は全て、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものを使用する。ポールについては、その競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け、許可されたものを使用できる。(やりも個人所有のものを認める。ただし、用器具庫にて競技開始1時間前迄に検定を受けること。)
- (2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納すること。

11. 競技用靴について

競技場は全天候型舗装であり、スパイクピンの数は11本以内で、長さは9mm以内とする。走高跳とやり役では12mm以内とする。

12. 表彰

各種目の選手権獲得者には、賞状と選手権賞を授与する。また、各種目3位までの入賞者には賞状を授与する。表彰式は当該競技終了後、直ちに行う。

13. 応急処置

医務室はスタンド正面左側に設けてあり、ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行うが、以後の責任は負わない。

14. その他

- (1) 正面開門時間は6：30、ゲート開門時間は7：00を予定している。
- (2) 受付（プログラム配布）は、7:15頃からメインスタンド下大会本部で行う。
- (3) プログラムの訂正は、8:00までに大会総務に申し出る。
- (4) 役員全体打ち合わせは8:00からメインスタンド前で行い、その後各パート打ち合わせを行う。
- (5) 競技場内には規定外の商社名・商品名を付けたスパイク袋またはバックを持ち入れてはいけない。
- (6) トラブル防止のため、競技場スタンドに撮影禁止区間を設ける。（撮影禁止区間および撮影を制限する時間帯はプログラムを参照すること）
- (7) テント設置の場合は取り扱い説明書に従い、突風でテントが飛ばされたり、倒れたりしないよう確実に固定すること。天候の状況によっては、撤去をお願いすることもある。
- (8) ゴミの始末については、各自・各チームで責任を持って行き、競技場にはいっさい捨てないこと。
- (9) 車の駐車については、2017・2018年円山競技場通行証(札幌陸協発行)にて駐車することが可能です。入口左側の奥から詰めてご利用ください。なお野球場側には駐車しないでください。ファウルボール等による車への損傷があっても、当協会では一切補償できませんのでご理解願います。

【運営要領】

各用紙の流し方

(1) スタートリスト

トラック競技	競技者係 →	出発係・写真判定員・監察員・（風力計測員・周回記録員・競歩審判員）
フィールド競技	競技者係 →	各担当審判（跳躍・投擲）・（風力計測員）

(2) リザルト

トラック競技 フィールド競技	記録員 →	各審判長（トラック・フィールド）・掲示
-------------------	-------	---------------------

※用紙の節約にご協力ください。